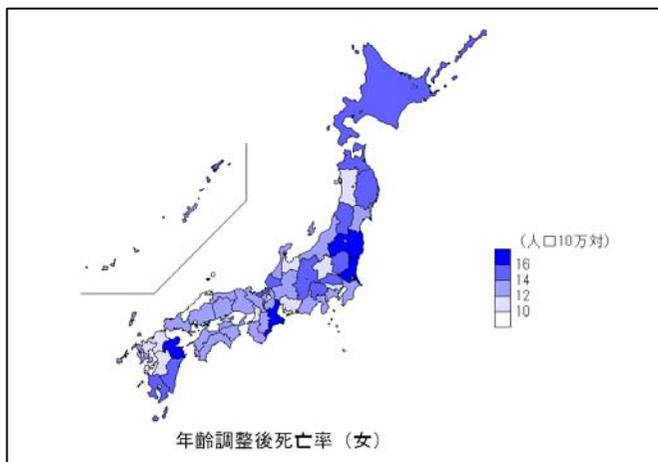
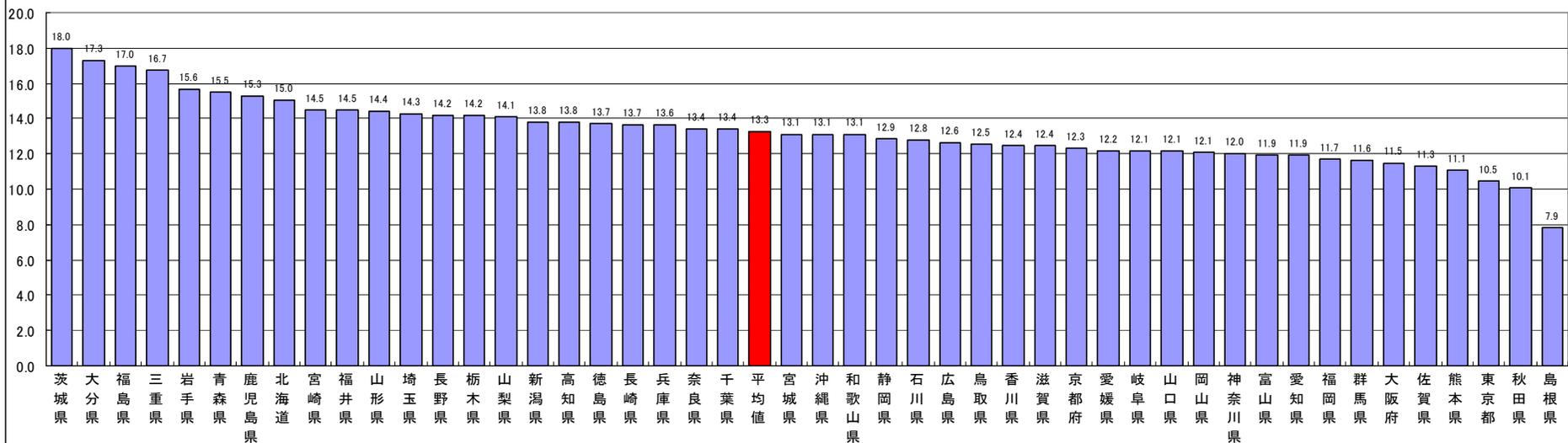


(人口10万対)

3. 急性心筋梗塞【指標7 年齢調整死亡率】年齢調整後死亡率(女)(N=47, 平均=13.3, 標準偏差=1.9)



- ・ 茨城県が最も高く、島根県が最も低い結果です。平均値は13.3、標準偏差は1.9です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られません。

(3) 「指標」の定義および算出方法

指標 1：年齢調整受療率（虚血性心疾患）

◆ 定義

傷病小分類「虚血性心疾患」の都道府県別受療率（年齢調整）

患者調査の「虚血性心疾患」の受療率を標準人口で補正した値とします。標準人口には昭和 60 年のモデル人口を使用します。

◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
「虚血性心疾患」の都道府県別受療率	患者調査	平成 14 年度	3 閲覧第 115 表（その 1） 受療率（人口 10 万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（総数）	

指標 2：基本健診受診率【脳血管疾患 2 と同じ】

◆ 定義

健診受診者数／世帯人員数

分子は、国民生活基礎調査で把握される、過去 1 年間に健康診断を受けた 40 歳～74 歳の者の数とします。

分母は、同調査の世帯人員数（40 歳～74 歳）とします。

◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
健診受診者数、世帯人員数	国民生活基礎調査	平成 16 年度	3 健康票第 4 巻第 1 2 表 世帯人員数（20 歳以上）、健診等の受診の有－受診機会（複数回答）－無・性・年齢（5 歳階級）・都道府県－14 大都市（再掲）別	